様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

546　　令和８年６月７日現在

①	ふりがな 氏名	かまた　あつし 釜田　淳志
④	所属先 所属先名称	愛知県新城設楽農林水産事務所
	所属先 役職名	主査
⑥	専門分野 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☐ 周辺環境整備　☐ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
⑦	対象鳥獣 ※該当に✓を記入	☑ シカ　☑ イノシシ　☐ サル　☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
⑧	対応可能地域 ※該当に✓を記入	☐ 全国　☐ 北海道　☐ 東北　☐ 関東　☐ 北陸　☑ 東海 ☐ 近畿　☐ 中国　☐ 四国　☐ 九州　☐ 沖縄 ☐ その他※特定の都道府県、地域（
⑨	免許、資格及び登録状況 ※該当に✓を記入	☑ 狩猟免許　（ 銃：取得年 R　1年　、　わな： H　28年 ） ☑ 鳥獣プロデータバンク　（☐ 鳥獣保護管理プランナー　☐ 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター　☑ 鳥獣保護管理調査コーディネーター） ☐ 鳥獣管理士（　　）級 ☐ ジビエ利活用コーディネーター ☐ その他（　　）

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

546　　令和８年６月７日現在

⑫活動実績	
活動期間	令和６年２月
地域	愛知県
対策の種類 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☐ 侵入防止技術　☐ 周辺環境整備　☐ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☑ シカ　☐ イノシシ　☐ サル　☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
活動の内容	愛知県特定鳥獣保護管理計画連絡協議会において、講師として捕獲強化について捕獲効率を高めるための、シカの基本的生態の解説から、重点捕獲すべき場所の提言およびセンサーカメラ併用わな捕獲の紹介をおこなった。

⑫活動実績	
活動期間	令和６年１１月
地域	愛知県新城市
対策の種類 ※該当に✓を記入	☐ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☐ 周辺環境整備　☐ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☑ シカ　☐ イノシシ　☐ サル　☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
活動の内容	愛知県新城市で開催された鳥獣害フォーラム新城2024において、シカの基本的な生態を解説するとともに農地等への侵入防止技術について、具体的事例を示しながらその対応法について解説し、地域のシカ対策についての普及啓発をおこなった。

様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

546　　令和８年６月７日現在

⑫活動実績	
活動期間	令和７年６月
地域	愛知県豊田市
対策の種類 ※該当に✓を記入	☐ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☐ 周辺環境整備　☐ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☐ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☐ シカ　☑ イノシシ　☐ サル　☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
活動の内容	社会福祉法人より農福連携事業として借り受けている稲作圃場にイノシシ侵入による被害が発生しているため、相談を受け現地指導をおこなった。侵入経路の特定から低コストでの具体的な資材を含めた既存柵の補強手法の提案をおこない、地元猟友会との連携による捕獲についてあわせて提案をおこなった。